

令和 5 年 月 日

長野市長 荻原健司 様

長野市社会福祉審議会委員長

おでかけパスポート事業の見直しについて（答申）

令和 4 年 10 月 4 日付け 4 福政第 663 号で諮問のありましたこのことについて、当審議会の意見は下記のとおりです。

記

1 基本的な考え方について

「地域連携 I C カード」への移行の時期に合わせ、以下のとおり利用者、バス事業者及び市の負担を見直すことが適当である。

- (1) おでかけパスポートの料金体系及び利用負担額を見直すこと  
(特に長距離)
- (2) バス事業者の負担割合を軽減すること
- (3) 市の負担は、利用者及びバス事業者の負担との調整を図り、見直すこと

2 料金体系の考え方について

利用者負担については、乗車 1 回当たりの下限額を 120 円、上限額を 300 円とし、5 段階の料金体系とすることが適当である。

(付帯意見)

- ・ 「地域連携 I C カード」の導入及びおでかけパスポート事業の見直しに合わせ、高齢者の積極的な外出促進につなげられるよう、市においてバス利用を促す企画や仕組み等を検討されたい。